

No.	推薦団体	氏名	市町村名	功績等
1	福島県相撲連盟	くろさわ ただし 黒沢 忠	郡山市	若くして郡山相撲協会・福島県相撲連盟のリーダーとして要職を歴任し、福島県内に於いて開催された国民体育大会・東北総合体育大会・東北高等学校選手権大会等のビック大会で、競技役員として活躍した。 福島県相撲連盟に於いては理事・副理事長・副会長と長年にわたり要職を歴任し自らも選手として活躍するとともに、現在は後輩の指導育成・競技力向上、相撲道の競技普及・発展に尽力している。 ○副会長8年 副理事長5年
2	福島県ライフル射撃協会	きくち けいじ 菊池 啓治	本宮市	30年以上の長きにわたり理事・常務理事・事務局長を歴任し、福島県ライフル射撃協会の発展に寄与した功績は偉大なものがある。 ・平成元年度より平成23年度まで常務理事を務めた。 ・平成5年度以降、事務局長の菊池祐三氏(弟)を助け事務局を補佐した。 ・平成24年度から令和2年度まで事務局長を務め、福島県ライフル射撃協会の運営を中心となって担ってきた。 ・令和3年度に射場管理参事に就任し、現在に至るまで射場管理業務を担っている。 ○事務局長8年 常務理事24年
3	(一社)福島県バスケットボール協会	さとう ひろみつ 佐藤 洋光	福島市	県立高校の教員として、長きにわたりバスケットボールの指導にあたり、福島東高校では3度の全国インターハイ出場に導いた。また、平成7年ふくしま国体では、少年男子の監督として全国2位の好成績を収めた。 福島県バスケットボール協会では、総務委員長、事務局長を務め、その後理事長、副会長となり、平成27年から会長として、福島県のバスケットボールの普及・発展に努めるとともに一般社団法人として福島県バスケットボール協会がスタートするにあたり多大なる貢献をした。また、会長として平成29年には福島県で開催された全国インターハイを成功裏に終了させた。 福島県スポーツ協会においても、監事として福島県のスポーツの充実に寄与した。 ○会長8年 副会長2年 理事長2年 ○県スポーツ(体育)協会 監事4年
4	福島県バドミントン協会	わたなべ まさみつ 渡辺 正光	会津若松市	平成10年から令和5年3月までの24年間、福島県バドミントン協会の普及・振興と競技力向上、ジュニアからシニアまで会員登録者拡大など福島県バドミントン協会の発展に積極的に尽力した。ふくしま国体では少年男子監督として活躍し、総合優勝に貢献した。また、全国に飛ばたく福島県バドミントン協会の活性化を夢みて、希望と感動のために全国大会誘致を企画した。特に、全日本実業団大会(平成14年)全日本シニア大会(平成21年)全日本社会人大会(平成25年)全日本シニア大会(令和元年)等、実行委員として開催準備から大会運営にいたるまで尽力した。 福島県実業団バドミントン連盟においては、理事長を平成18年から8年間、会長を平成26年から現在まで9年にわたり務めている。 ○副会長8年 理事長8年
5	福島県弓道連盟	かとう いずる 加藤 出	川俣町	福島県を代表する選手として、若い頃から国民体育大会や全日本弓道選手権大会などで活躍した。32歳の若さで福島県勢として初めて天皇盃を獲得、その後複数回入賞するなど優秀な成績を収めてきた。 福島県弓道連盟の会長として、6期12年という長い間、会員をまとめてきた。さらに、全日本弓道連盟では平成17年から評議員、平成22年から理事、平成25年から2年間専務理事、令和3年から専務理事を再任、令和5年7月には東北で二人目となる全日本弓道連盟の会長に就任した。 平成17年に八段昇段、平成20年に範士昇格した。八段・範士となり、全日本弓道連盟の中央講師として国内外の講習会でその指導力を遺憾なく発揮し、県内だけでなく国内外で弓道の発展・技術力向上のために尽力した。 ○会長12年 副会長6年
6	福島県スキー連盟	おぐま よしいち 小熊 義一	猪苗代町	24年にわたり、福島県スキー連盟の理事として、クロスカントリー競技の選手強化・育成、並びに福島県総合スポーツ大会や各種大会の会場・コース設定などの企画運営に尽力した。また、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者スキー・スノーボードコーチ1の資格を有し国民体育大会スキー競技会クロスカントリー競技の監督として出場してきた。 ・平成7年から平成11年まで福島県スキー連盟クロスカントリー部大会運営委員長を務めた。 ・平成12年から現在に至るまで福島県スキー連盟理事、平成22年から現在に至るまでクロスカントリー部長を歴任した。 ・平成28年から令和5年まで国民体育大会スキー競技会クロスカントリー競技の監督を務めた。 ○理事24年
7	福島県バレーボール協会	いとう たかし 伊藤 隆司	福島市	平成17年度より福島県高等学校体育連盟バレーボール専門部の部会長として高等学校におけるバレーボール競技の普及発展及び競技力の向上に貢献をした。平成21年度から県北バレーボール協会会長を6年間務め県北地区におけるバレーボールの普及発展に尽力した。平成27年度より福島県バレーボール協会会長として8年間務め、加盟団体(小学生連盟・中学生連盟・高等学校体育連盟・クラブ連盟・ママさん連盟等)の指導を行うなど本県バレーボール競技の振興に尽力したほか、福島県総合体育大会の開催では適切な指示を行うなど円滑な運営を行った。現在は、福島県バレーボール協会の顧問として、後進の育成に尽力している。 平成29年より福島県体育協会監事を2年間務め、令和元年度より理事として4年間務めるなど福島県スポーツ(体育)協会にも貢献した。 ○会長8年 副会長10年 ○県スポーツ(体育)協会 理事4年 監事2年
8	福島県フェンシング協会	ほんだ みつお 本田 光男	福島市	永年にわたり福島県フェンシング協会の要職を歴任し、本県フェンシング競技の普及・発展に大きく寄与した。 また、福島市フェンシングクラブスポーツ少年団の指導者として、後進の育成にも尽力しており、今後も活躍が期待される。 平成7年には福島県体育協会優秀指導者賞を受賞している。 ○理事長20年
9	福島県ボウリング連盟	ねもと ひさのり 根本 長徳	本宮市	10年にわたり副理事長として福島県ボウリング連盟の発展に寄与した。特に競技部長として福島県ボウリング連盟の競技力向上に努めた。また、東北大会、全国大会等で競技部長として適正な判断、大会の運営に尽力した。福島県ボウリング連盟の競技力向上だけでなく、郡山支部長として郡山市の選手の育成を率先して行った。現在も、副理事長、競技部長、社会人部長、郡山支部長として活躍し、後継者育成も併せて努力している。 平成11年度に県体育協会表彰において優秀指導者を受賞した。 ○副理事長10年
10	県南市町村スポーツ協会連合会	まだらめ ひでお 班目 秀雄	白河市	平成10年3月に競輪選手を引退後、日本自転車競技連盟ナショナルチーム監督に就任し、シドニーオリンピック監督として日本チームを率いた。その後、アテネオリンピック、北京パラリンピックにおいて監督・コーチを務めた。 福島県スポーツ(体育)協会理事を平成29年から6年間、福島県自転車連盟副会長を平成14年から現在まで務めており、地域の自転車競技の推進に尽力している。 平成15年から白河市体育協会副会長に、平成29年から同協会会長に就任し、この間、平成26年に同協会のNPO法人化に尽力した。また、白河市自転車連盟においては、平成14年から会長を務め、市民対象の自転車教室や市民総合体育大会自転車競技の運営に積極的に携わり、地域の子どもの健全な育成に寄与している。 ○白河市スポーツ協会 会長6年 副会長14年 ○県スポーツ(体育)協会 理事6年
11	会津地域連合会	たかはた きょうこ 高畑 京子	会津若松市	会津若松市家庭バレーボール協会の会長として、家庭バレーボール競技の普及に尽力し、福島県総合スポーツ大会地域スポーツ大会をはじめ各種スポーツイベントの運営に協力した。平成25年からは会津若松市体育協会副会長を5期(10年)務め、協会の運営に多大なる貢献をした。 また、会津若松市体育協会の加盟団体「謹教スポーツクラブ」の設立にも貢献し、地域におけるスポーツ振興にも尽力した。 ○会津若松市体育協会 副会長10年
12	会津地域連合会	めぐろ しゅうせい 目黒 修世	北塩原村	北塩原村体育協会の会長を平成7年度から令和4年度までの28年間にわたり歴任した。各種体育事業を行うことで、本会の目的である村民の体力の向上、スポーツ精神の高揚、スポーツの生活化、明るくたくましい村民の育成に多大な尽力をした。 ○北塩原村体育協会 会長28年
13	相双地域連合会	おぐろ けいぞう 小黒 敬三	浪江町	平成16年度から令和4年度まで19年にわたり浪江町体育協会会長として、協会の発展及び町の体育振興に貢献した。 更に、東日本大震災発生以降の全町避難、その後の一部避難解除といった誰も経験のない混乱期においても協会を牽引し、町民の健康と体力向上に努めるなど、町の体育振興に大きく寄与した。 ○浪江町体育協会 会長19年